

平成29年度第1回江別市行政審議会 会議録（要点筆記）

日 時：平成29年11月13日（月） 18:30～20:25

場 所：江別市民会館 21号室

出席委員：押谷一委員、碓井和弘委員、田口智子委員、奥村昌子委員、安孫子建雄委員
岸本佳廣委員、田原久美子委員、成田裕之委員、西脇崇晃委員、萩原英樹委員
深瀬禎一委員、山崎雅江委員、豊田選子委員、中井和夫委員、三ツ井瑞恵委員
山崎啓太郎委員（計16名）

事務局：佐々木副市長、北川企画政策部長、福島企画政策部次長
政策推進課中島参事、天明屋主査、坪松主査、山口主事

傍聴者：2名

■開会

■委嘱状交付

■副市長挨拶

■委員紹介

■会長・副会長選出

委員の互選により、押谷一会長、田口智子副会長を選出。

■第6次江別市総合計画の改訂について諮問（副市長から押谷会長へ諮問書を手交）

■資料説明

○押谷会長

資料説明ですが、今後の行政審議会の進め方、第6次江別市総合計画の概要、事前に配付されている資料などについて、事務局から説明をお願いします。

【事務局から説明】

- (1) 江別市行政審議会の進め方について
- (2) えべつ未来づくりビジョン＜第6次江別市総合計画＞の概要

【資料に関する質疑応答・意見交換なし】

【事務局から説明】

- (3) 江別市将来人口推計＜分析結果＞

- (4) 江別市人口動態に関する分析報告書
- (5) 江別市を取り巻く現状報告書
- (6) 道内他都市との社会指標の比較報告書
- (7) 第6次江別市総合計画中間改訂に係るまちづくり意見交換会報告書

【資料に関する質疑応答・意見交換】

<(3) 江別市将来人口推計分析結果>

○中井委員

7ページ、図表10について、平成28年の社会増を受けた形で平成33年まで推移されていますが、人口が減少化している中において、それはいかがなものでしょうか。江別市が人口の増加を図りたいという意思があると思いますが、その部分についてご説明いただけますか。

○事務局

こちらの人口推計については、外部の専門機関に推計していただいたものになります。

平成27年まで人口は社会減となっており、江別市に転入してくる方よりも転出していく方が多かったという流れが9年間続いておりました。平成28年から人口推計を行った平成29年6月辺りにはその流れが変わり、江別市への社会増が明らかになってきました。

その流れは、現在においても続いており、この流れが続いていくと見た方が5年後の数値としては正確に捉えられるという判断で、このような推計となっております。

○押谷会長

あくまでもこれは推計ということでご説明がありましたように、平成27年まで社会減、平成28年からは社会増となっており、今後もその状況が続いていく可能性が高いため、それを基に推計していることだと思えます。

○事務局

会長がおっしゃったとおり、あくまでも推計です。計画を見直すうえで、どのような5年後の人口を見据えると良いかを考えた推計であり、いずれにしても前回の推計、今回の推計ともに自然減を補うだけの社会増はありませんので、今後人口が減少していく方向性には変わりないかと考えております。

○押谷会長

事務局から説明がありましたように、自然減の数値が大きく、社会増であっても、将来的には人口は減少する。これから議論していく際のひとつの資料としてご提示されているというように理解してよろしいと思えます。

○安孫子委員

事務局からあくまでも推計であるとの説明がありましたが、その推計そのものが正しいかをどう判断するかという話になり、このデータを元に議論していくのか、本当にこうなのかを考える必要があるのか判断が難しい。

もう一点、このように出た数値は現状良い方向に向かっていますが、生産年齢人口に関わっており、江別市の活性化に非常に重要な部分ですので、その辺りがこれで良いのか、江別

市だけが特殊な要因でこうなっているのかを見なければいけないと思います。

近隣市の人口の異動を見て、必ず江別市に人が集まってくる要素があるという根拠があれば、同じ仮定としても有力な見方になると思います。

周辺も含めてどのような動きになっているか、江別市だけで考えられるわけではないと思うので、慎重に捉えていかなければいけないと思います。

○押谷会長

平成28年までの状況、平成29年現在までの状況をみた推計の方法が良いのか、将来どうなっていくか、これは私たちの一番身近な課題だと思います。

○中井委員

7ページ図表10の社会移動数は年代別の数値を単純に5倍しています。外部に委託してそのような単純な数字になるのかと思うので、慎重に考え、別な数値を示していただく必要があるのではないのでしょうか。

○押谷会長

意見として賜っておきます。

この人口推計は、これまでの傾向から推計されたと理解してよろしいのでしょうか。

○事務局

人口推計は希望的観点の部分もあると思いますが、いずれにしても専門機関にコーホート要因法という基本的な手法で、直近の社会増減を加味し、作成した推計でございます。

数値が大きい、小さいと感覚的に違っておっしゃっても、事務局において修正することはできません。あくまでも専門機関で一定の手法により、直近の傾向を踏まえながら推計されたものと理解していただければと思います。

○押谷会長

これを元に安孫子委員の指摘にあった数値が先走りすることはないと思いますが、現状を見ていく中でひとつの推計の数字であると理解しておきたいと思います。

推計については出生率、死亡率などの要因を重ねた上での手法だと考えていただき、行政審議会として今後のあり方についての議論は、また別の機会で行いたいと思います。

<(4) 江別市人口動態に関する分析報告書>

【資料に関する質疑応答・意見交換なし】

<(5) 江別市を取り巻く現状報告書>

○深瀬委員

11ページに「観光客入込数」とあり、増加しているようですが、どの施設に来ているのか、江別市の魅力はどのくらい認識されているかが分からない。

江別市は良い所だと思っておりますが、観光客は何を目的として江別市に来ているのか分かっていたら教えていただきたい。

EBRIの客数が多いという話は聞いても、その他はどこなのでしょう。

○事務局

「観光客入込数」は、町村農場、防災ステーション、EBRI、トンデンファーム、アースドリーム角山農場などの人数を集計したものです。特に伸びている場所は、平成28年に開業したEBRIであり、市外から来るお客様が多いと伺っています。

○押谷会長

可能ならば、部会に分かれて観光について議論する際に、EBRIの入込客数などの具体的な数字が分かるような資料がありましたら、提供していただければ幸いです。

○中井委員

2ページ「市民協働と社会のつながりの変化」は、出前講座のみで捉えられるのでしょうか。

○事務局

協働や郊外住宅の活性化についても既存の統計データにある中で、特徴的な項目を選んだものであるため、中井委員の指摘のとおり、江別市の状況を表す全てのデータを記載しているものではありません。

詳細については、本日諮問の際に配付させていただいた「まちづくり政策点検シート」にて次回以降、所管課に質問する機会があると思いますので、ご確認していただくと有意義な議論になるのではないかと考えます。

○押谷会長

確認ですが、先程諮問書を配付していただいた際に、「まちづくり政策点検シート」があり、これまでの取組内容などが記載してあるので、それを見ていくということの良いでしょうか。

「まちづくり政策点検シート」について説明をいただいてもよろしいでしょうか。

○事務局

「まちづくり政策点検シート」については、各部局に総合計画の中間改訂にあたり、総合計画で規定した内容のこれまでの取組状況、現況、後期に向けての課題、設定した指標の推移を表しています。こちらは量が多く、全て見るのは大変かと思いますが、ご覧いただくとより詳細な内容が見えてくると思います。

ただし、全てのデータは記載されていないため、次回以降、各所管課に質問していただければ、お答えできる部分については回答する形になると思います。

○押谷会長

例として「市民協働と社会のつながりの変化」の場合、「まちづくり政策点検シート」では、どのようなことを確認すると良いのでしょうか。

○事務局

協働は、本日配付した資料の「08」でございます。協働の2ページに指標として「協働によるまちづくりが進んでいると思う市民割合」と記載されており、これは市民アンケートの結果です。このようなアンケートの調査結果や、各部が所管する個別計画のそれぞれの進捗状況を表すものがありますが、「市民協働推進事業」において実施した協働事業数などを

記載しているので、議論の参考になると考えております。

○押谷会長

事前に配付された資料「江別市を取り巻く現状報告書」には、特徴的な項目として出前講座のみが記載されていますが、本日配付された「まちづくり政策点検シート」に、他の項目も記載されているため、今後その部分も含めて議論いただくような形になるという説明でありました。

○中井委員

「市民協働と社会のつながりの変化」の中で、一番大きな事項は、江別市市民参加条例の策定ではないでしょうか。協働について議論するという事ならば、担当課に質問する以前に、江別市市民参加条例を定め、協働を広げように行った活動を資料として出していただく必要があると思います。

○押谷会長

整理されたうえでの資料かと思いますが、これからの議論の進め方、議論のための資料のあり方をより詳細にするために何かありますか。

○事務局

市民参加については、協働の中で市民参加をしてもらうようなものについて、皆様に知ってもらえるような資料を配付する方法があると考えております。江別市市民参加条例の話も出ましたが、総合計画が出来た後に定めた条例です。

事務局としても、総合計画が出来た後の一つの大きな変化だと考えておりますので、この条例を定めてどうなったのかを議論していただきたいと思います。

○中井委員

4ページ「都市インフラの老朽化と公共交通ネットワーク」に出ている資料が、基本的に現在の市の施設のみが記載されていますが、ごみ処理の問題、道路、上下水道含むインフラについてどうなのでしょう。これについて「まちづくり政策点検シート」に記載はありますか。

資料がない場合は、次回に説明いただけるようお願いいたします。

○事務局

道路や上下水道とありましたが、そのような資料を示してほしいと希望があれば、足りない資料を追加することも考えており、用意できる資料については用意していくという進め方でいきたいと考えております。

○押谷会長

私たち委員から個別に必要なデータがある場合は、事務局に申し出ていただき、それを共有しながら進めさせていただくということによろしいでしょうか。

資料は要求した委員だけではなく、全委員で見ていただく形にしたいと思います。

○事務局

事務局で用意できる資料については随時出していきたいと思っています。

○押谷会長

資料はたくさん出てきて良いと思いますが、審議会の時間も限りがあるので、その中で用意していただいて、議論をしていきたいと思います。

事務局は、本日も含めて資料要求があれば、それにお応えいただくようお願いいたします。

○事務局

了。

○押谷会長

「江別市を取り巻く現状報告書」についてのご意見、ご質問は申し上げたとおりです。本日配付された「まちづくり政策点検シート」について説明はありませんので、各自でよく読んでいただくことが重要ですし、必要な資料などがあれば事務局に要求していただき、行政審議会の委員で共有していきたいと思います。

○田口副会長

会長に付随して一か所確認ですが、上下水道などに関する資料は次回までにご用意していただけるという判断でよろしいでしょうか。

○事務局

行政審議会として要求していただくのであれば、用意したいと思います。

○田口副会長

文化的な施設なども記載されていないので、郷土資料館なども今後どのような修繕が必要であるのか、防災に関しても文化的な施設をきちんと把握しておかなければ、災害時の倒壊の可能性もあるので、列挙していただきたいと思います。

○押谷会長

現在の行政施設だけではなく、社会的なインフラ、上下水道、廃棄物問題、道路問題といった公共施設の問題も含めて、行政審議会に提供していただけるようお願いいたします。

耐用年数による劣化の問題も含めて提供していただけるようお願いしたいと思います。

○事務局

市の公共施設、社会インフラの老朽化、耐震化といったものの状況だと承ってよろしいでしょうか。

○田口副会長

よろしいと思います。

それ以外であれば、随時各委員から依頼があると思います。

○押谷会長

そのような対応でよろしいでしょうか。

○事務局

了。

<(6) 道内他都市との社会指標の比較報告書>

○奥村委員

29ページの「平均寿命」のデータに関してですが、可能であれば「健康寿命」もデータの比較、「江別市の健康寿命の推移」があると、「福祉・保健・医療」の政策の検討にも使えると思います。

特に、「福祉・保健・医療」については「健康だと思える市民割合」が成果指標となっているため、他都市と比較するというより、市としておさえておくデータとして共有できると良いと思います。

○押谷会長

健康福祉に関するデータなどは用意できるようでしたらお願いしたいと思います。

他にご意見、ご質問ございますか。

○安孫子委員

行政審議会の進め方で確認させていただきたいのですが、たくさん資料が出てきたため、何をどのようにチェックしたら良いのでしょうか。最終的にどこに向かっていくかが分からないと話が混乱していくと思います。

本日配付された「まちづくり政策点検シート」を読むと今まで行ってきたことがどうなのか分かるようになっていきます。それを見て、これで良いか悪いか、現状に合わなくなっているかなどを議論して諮問に応じていくことになるのかと思って聞いていたのですが、それで良いか確認したいと思います。

○押谷会長

今のご意見は最初に議論すべきだったのかもしれませんが、行政審議会のあり方の説明を十分に共有できていない部分があり、先ほどの説明の中でどのようなことを行うか、「まちづくり政策点検シート」のあり方、取り扱い方などのご意見だと思いますが、行政審議会としての着地点をどこに設けるのかを事務局から説明をお願いします。

○事務局

行政審議会の進め方については、安孫子委員の発言のとおりを進め方と捉えて良いかと思っています。

「まちづくり政策点検シート」は、現在の計画、今までこの計画に基づいて何を行ってきたか、現在どのような課題があるのか、後期に向けて何を行わなければならないのかをまとめたものでございます。

それに基づき、この計画を見直す必要があるかを市の内部で判断したのまで記載しております。それが皆様から見て良いかを担当課からのヒアリングを行い、判断していただきたいと考えています。

○安孫子委員

「まち・ひと・しごと創生総合戦略」と現総合計画とのマッチングは考えなくて良いのでしょうか。

「まち・ひと・しごと創生総合戦略」は非常に衝撃的であり、人口減少を阻止しようと予

算も出て、様々な案を出したと思います。総合計画を策定してから世の中が大きく変化していますが、計画自体はそのままで良いのかを議論し、見直さなければならないと思います。

人口の問題は企業活動、福祉の面にこれから影響が出てくることになるので、心配しております。

○押谷会長

最後に説明しようと思っておりましたが、総合計画が出来た後に地方創生の考え方や働き方の概念が出てきており、地方がどのように活性化していくかに対して、行政審議会ではどう関係しているのかを事務局のお考えがあれば、お聞きしたいと思います。

○事務局

「まち・ひと・しごと創生総合戦略」も目指すところは人口減対策、人口減に地域がどう対応していくのか、そこに携わっている地域経済の循環、活性化というのも、一つの目的となっております。今回の1年前に出来たのが「えべつ未来戦略」であり、現在のえべつ未来戦略と総合計画は江別市が初めて人口減対策を念頭におき、策定した総合計画です。大きなテーマとしては人口減対策と地域経済の発展となっており、目指すところは同じですので、議論していく中で、地方創生とこちらの計画は同じ方向を向いていると考えます。

○押谷会長

「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の資料を見せていただき、整合を取っていく形になると思いますので、資料は必要に応じて出していただくようお願いしたいと思います。

<(7) 第6次江別市総合計画中間改訂に係るまちづくり意見交換会報告書>

○中井委員

意見交換会には、地区ごとの自治会連絡協議会の限られた役員のみしか出席しておらず、役員以外が参加できる状態ではありませんでした。今後の進め方として、市民公募型で市民が誰でも意見交換会に参加できる方法にしてほしいと思います。

パブリックコメントやアンケートを実施すれば良いというのではなく、多様性のあるまとめ方をして欲しいという要望です。

○押谷会長

19ページ以降自治会について、江別地区・野幌地区・大麻地区の自治会連絡協議会にヒアリングされた結果ですが、もう少し市民の意見を聞いた方が良いのではないかという意見ですので、今後についてご参考にしていただければと思います。

本日は公募委員の方、様々な分野の方が参加されているので、部会に分かれた際も含めて、自由な意見を出せる場だと思えます。

今の件は、要望ということで事務局には受け止めていただきたいと思います。

行政審議会は安孫子委員からもありましたように、地方創生の総合戦略と方向性は一にしていることは間違いないと理解しています。具体的な総合戦略としての資料が本日配付されましたが、十分でない部分があれば行政審議会の委員として資料の要求をしていただき、行政審議会の中で共有し、より良い議論が出来るように進めていきたいと思えます。

■部会の設置

○山崎（啓）委員

今後の進め方について、2つの部会に分かれて審議会を行うことになりましたが、どのような形で分けられるのでしょうか。

○押谷会長

2回目以降、どのような進め方になるのか、事務局からご説明いただきたい。

○事務局

本日配付した資料に、部会の政策テーマのみを関連があるものについて、分けさせていただきました。まちづくり政策のテーマが記載してあり、そのテーマに沿って部会に分かれていただければと思います。

部会長については、本日選出されました会長、副会長がそれぞれの分野の専門を考慮しまして、第一部会に押谷会長、第二部会に田口副会長に入っただけかと思いますが、他の委員の構成については、決めさせていただければと思っております。

○押谷会長

私と田口副会長が2つの部会に分かれ、それぞれ議論していくということによろしいでしょうか。

○各委員

了。

○押谷会長

要望がありましたら寄せていただく形になると思いますが、市民公募で選ばれた4名の方は偏ることなく2人ずつ入っただく形にしていきたいと思います。

事務局に一任申し上げて、分けていただきますが、進め方はよろしいでしょうか。

○各委員

了。

○押谷会長

事務局で各委員の立場、性質も含めて決定したいと思いますが、ご希望がございましたら発言願います。

○安孫子委員

「02産業」に決まるかと思っておりますがどうでしょうか。

○押谷会長

商工会議所、あるいは企業経営の経験から含めて、その分野が適切かと思いますが、事務局としてはどうでしょうか。

○事務局

押谷会長のおっしゃる通り、皆様の専門、出身団体、男女比などを参考にし、事務局だけではなく、押谷会長、田口副会長と協議のうえ、決定させていただきたいと思っております。

○押谷会長

皆様それでよろしいでしょうか。

○岸本委員

部会なりの進め方があると思いますが、テーマを分けて効率よく進めることになると思いますが、大きな変革、変えなければいけない事項があった場合、もう一方の部会にも諮問していくのかを確認したい。

○押谷会長

その件は副会長とも相談しますが、すべて部会を分けて、最後に合同で行うだけではなく、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」も含めて、途中で少なくとも1回全委員で行わなければならないかと思っていますので、事務局とも相談させていただきます。

2回目以降、最後の審議会のみを合同で行うわけではないと考えていますので、お任せいただきたいと思います。

■その他

■次回開催日程調整

■閉会